

地域連携 News

Japanese Red Cross Otsu Hospital



副院長就任のご挨拶

平素より当院の地域医療連携に御支援を頂き誠にありがとうございます。

2026年4月1日より副院長職を拝命いたしました。当院との関りは1994年3月に滋賀医科大学卒業、4月に京都大学形成外科入局、その半年後の12月に研修医として当院に赴任した時に始まります。前形成外科部長・前院長の石川浩三先生の下、3年半形成外科・手外科の基礎を学びました。当院勤務後は、島根県立中央病院、田附興風会医学研究所北野病院形成外科に勤務、形成外科専門医を修得しました。次に勤務した和歌山市の角谷整形外科病院勤では整形外科を学び整形外科専門医を修得しました。その後、京都大学大学院進学、京都大学附属病院形成外科の勤務を経て2013年に石川浩三先生にお誘いいただき再び当院に戻ってまいりました。

2014年に二代目形成外科部長を拝命し私の専門領域である手・肘関節分野を診療の軸としつつ、皮膚腫瘍、熱傷、顔面骨骨折、糖尿病足や閉塞性動脈硬化症による重傷虚血肢、褥瘡等の形成外科が扱う幅広い疾患領域に対応できるように形成外科を運営してまいりました。戻ってきてからあっという間に12年が経ちました。その間、地域の先生方には大事な患者さんを数多く紹介していただきまして大変お世話になりました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。また、その間、2027年5月1日に創立150年を迎える日本赤十字社病院の使命のひとつである災害医療に、救護班、DMAT、原子力災害医療派遣チームとして携わる機会を得ることができました。災害医療を通じて、地域の生活や医療を日々守り続けている先生方にとっては当たり前のことではありますが、社会の中の医療、日常の地域医療の重要性、高度な専門治療以上に人々の日常の継続がいかに命を支えているかということ強く再認識いたしました。町の開業医であった亡父が、狭い分野の専門医になった私に「ひとを診ないといけないよ。」と度々諭していたことも“局所と人”ではなく“社会の中のひと”であることだと恥ずかしながら再認識させられました。

今後は、これまで以上に病院全体の運営について考える立場になりました。浅学菲才の身ではありますが小川院長の下、災害・防災、高度救命救急センター、手術部、医療DXを主な担当分野として多職種職員と協力して全病的な課題に取り組んでまいります。微力ながら地域医療発展のために粉骨砕身する所存であります。地域の皆様には、これまで同様御指導御鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

形成外科 皮膚科
集中治療部 手術部
いしこ としひろ
石河 利広

 日本赤十字社 大津赤十字病院 地域医療連携課

〒520-8511 滋賀県大津市長等一丁目1番35号

TEL.077-522-8535(直通) FAX.077-522-4385(直通)

予約受付 月曜日から金曜日(平日) 午前8時30分から午後7時00分まで
土曜日 午前9時00分から午後1時00分まで



大津赤十字 形成外科

